

令和3年度 いわき市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和4年5月

いわき市（福島県）

○計画期間：平成29年4月～令和5年3月（計画期間6か年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和3年度終了時点（令和4年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市中心市街地活性化基本計画は、平成29年3月24日に国の認定を受けた。「人、暮らし、文化を大切にす豊かさと活力とを備えた中心市街地」を基本テーマに掲げ、官民が連携しながら、中心市街地の活性化に取り組んでいる。

主要事業である「いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業」や「地域密着型商業施設整備事業」については、進捗状況の遅れにより、計画期間内の完了が見込めない状況となった。

「いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業」については、令和3年6月に権利変換計画認可を取得し、これを受け、地区内の既存建物の解体撤去を完了させた。令和3年度終了時点では、施設建築物の工事に着手しており、令和5年度末の事業完了を目指している。

「地域密着型商業施設整備事業」については、建物のリニューアルに向けて既存施設の解体が概ね完了した。また、道路付け替えのための都市計画変更の手続きも順調に進んでおり、今後は順次、道路の付け替え工事、新施設の建築工事に着手していく。並行して、テナントリーシングも行い、令和5年度内の事業完了を目指している。

このことから、主要事業による目標達成が見込めない中、計画の変更により、計画期間を1年延長するとともに、新たに6事業を追加することで目標達成を目指していくこととした。

また、中心市街地内の「主要歴史・文化施設」では、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業やイベントが中止や縮小となるなど、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大前と比較して入込客数が少ない状況が続いた。そのような中でも、令和2年度に引き続き、本市の歴史や芸術文化に関する動画を無料で配信するなど、自宅にいながらも本市について学んだり、愛着を持ったりできるような事業を実施し、まちの魅力の発信に繋がった。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】（基準日：毎年度1月1日）

（1）居住人口

（単位：人）

	平成28年度	平成29年度（1年目）	平成30年度（2年目）	令和元年度（3年目）	令和2年度（4年目）	令和3年度（5年目）	令和4年度（6年目）
人口	4,189	4,130	4,246	4,337	4,360	4,370	
人口増減数	20	▲59	116	91	23	10	
自然増減数	▲25	▲31	▲27	▲31	▲36	▲34	
社会増減数	45	▲28	143	122	59	44	
転入者数	328	328	392	418	406	376	

(2) 地価公示 (用途: 商業地)

(単位: 円/㎡)

	平成 28 年 度	平成 29 年 度 (1 年目)	平成 30 年 度 (2 年目)	令和元年度 (3 年目)	令和 2 年度 (4 年目)	令和 3 年度 (5 年目)	令和 4 年度 (6 年目)
平字三町 目 28 番 (いわき駅 から 200m)	155,000	156,000	158,000	160,000	163,000	166,000	
変 動 率 (%)	2.0	0.6	1.3	1.3	1.9	1.8	
平六町目 3 番 12 内 (いわき駅 から 720m)	68,700	70,000	71,300	72,700	74,100	76,000	
変 動 率 (%)	2.1	1.9	1.9	2.0	1.9	2.6	

2. 令和 3 年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和 3 年度をもって当初予定していた 5 年間の計画期間は終了したが、「いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業」や「地域密着型商業施設整備事業」における旧イトーヨーカドー平店跡地の都市計画変更等の問題から令和 3 年 3 月に臨時総会を開催し、基本計画に関する延長の決議を行い、令和 4 年 3 月 24 日に国から 1 年間の基本計画延長が正式に承認された。この延長承認により、懸案となっていた大型開発事業を地域として継続的に支援する体制を整えることができた。

また一方で、中心市街地活性化基本計画に関連する事業として、JR いわき駅を中心にホテルや商業ビルの開発、いわき駅北口に直結する総合病院の移転等が令和 7 年を目標に計画されるなど、大規模な開発が引き続き予定されている。このため、いわき市中心市街地活性化基本計画終了後にも地域や関係機関が継続して支援を行うための方向性や組織体制について整理を行っていく必要があると考えられる。

以上のような状況を踏まえ、延長された残り 1 年間の計画期間において各事業主体の実施状況を注視しながら現計画の確実な推進を図るとともに、計画終了後を見据えた連携体制の構築などについて理解を深めながら、中心市街地の活性化にむけて官民が協力して継続的な取組みを行っていくことが求められる。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し							
目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
生活環境の充実によるまちなか居住の促進	中心市街地内の居住人口	4,133人 (H28)	4,400人 (R4)	4,287人 (R3)	B	①	①
新規出店の促進による事業活動の活性化	中心市街地内の新規出店数	26件 (H23～H27)	52件 (H29～R4)	54件 (H29～R3)	A	①	①
歴史・文化資源を活かした賑わいの創出	主要歴史・文化施設の入込客数	1,226,198人 (H27)	1,263,000人 (R4)	427,666人 (R3)	C	②	①

<基準値からの改善状況>
A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>
①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない
※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

2. 目標達成見通しの理由

「中心市街地の居住人口」については、目標達成まであと113人である。主要事業である「いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業」の完了によって、364人の人口増加を見込んでいたが、進捗の遅れにより、この事業による計画期間内の人口増加は困難となった。

そうした中、令和4年度より、「“フラシティいわきへ”まちなか定住促進事業」や「リビング・シフト推進事業」、「UIJターン支援事業」等を新たに計画に追加し、これらによっても市外から中心市街地内への居住を促進していく。市外から中心市街地内への居住を促進していくことで、目標達成は可能であると見込んでいる。

「中心市街地内の新規出店数」については、順調に増加しており、今回、目標を達成することができた。これは、これまでに実施したまちなかを活用した起業家支援事業などによりまちに賑わいが創出された効果が表れていることや、新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策として、空き店舗等を利用して新規に出店する事業所に対して市が補助金の交付を行ってきたことが増加の理由として挙げられる。

今後においても、令和4年度より新規に追加した「店舗等新規出店支援事業」や、中活計画策定当初には予定されていなかったJR東日本によるいわき駅南口でのホテル及び商業施設の開発事業（令和4年度内に開業予定）によって新規出店数のさらなる増加が見込まれる。併せて、既存事業も着実に実施し、新規出店数の増加をさらに加速させていく。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

「主要歴史・文化施設の入込客数」については、前回のフォローアップでは、令和3年度は新型コロナウイルス感染対策をしながらの各種事業やイベントの実施となることから、目標達成は難しいと考えた。実際、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業やイベントが中止や

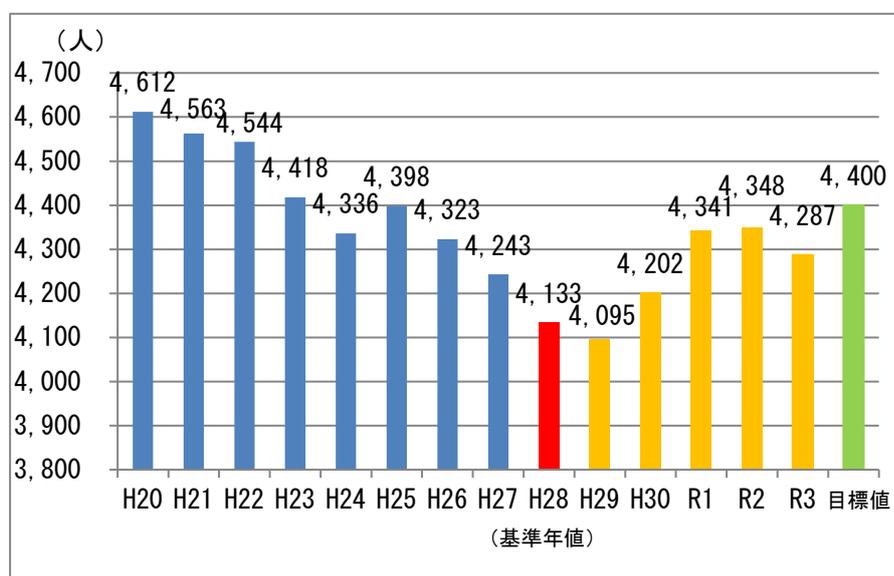
縮小となるなど、令和2年度と同様に、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大以前と比較して入込客数が少ない状況が続いた。

しかしながら、ワクチンの普及等により、社会活動や経済活動が新型コロナウイルス感染拡大前の状態に戻りつつあり、令和4年度には新型コロナウイルス感染拡大前の状況にまで回復することを想定している。そのため、令和4年度には目標達成が可能だと見込んでいる。さらに、令和4年度より、中心市街地を回遊するグリーンスローモビリティの運行を開始する予定であり、中心市街地内の商業施設や文化施設間など、まちなかの回遊性を向上させることで、これによっても入込客数の増加を図っていく。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「中心市街地内の居住人口」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 61～P. 63 参照

●調査結果と分析



年	(単位) 人
H28	4,133 (基準年値)
H29	4,095
H30	4,202
R1	4,341
R2	4,348
R3	4,287
R4	4,400 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳から集計

※調査月：令和4年3月

※調査主体：いわき市

※調査対象：中心市街地の居住人口

〈分析内容〉

中心市街地の居住人口については、目標達成まであと113人である。

これまで、本市では、若者の市外流出や出生数の低下などにより人口減少が進む中、中心市街地においては、平成29年以降に複数の民間マンションの建設が完了し、その分譲が進んでいたことから人口が増加していた。しかしながら、今回の集計では、民間マンションのある地区での人口増加よりも、その他の地区での人口減少が上回ったため、中心市街地全体としては令和2年度より居住人口が減少となった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業（いわき駅並木通り地区市街地再開発組合）

事業実施期間	平成 28 年度～令和 5 年度【実施中】
事業概要	いわき駅西側区域において、まちなか居住のための住宅の供給とともに都市機能を充実させ、歩いて暮らせるコンパクトシティの実現や、高齢者や障がい者にもやさしいまちの実現を図り、中心市街地への定住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省） （平成 29 年度～令和 4 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	権利変換計画の内容がまとまり、福島県へ認可申請を経て令和 3 年 6 月 25 日に権利変換計画認可を取得した。 これを受け、地区内の既存建物の解体撤去を完了させ、施設建築物の工事に着手したところである。 目標値：364 人の増加 令和 3 年度実績値：0 人
事業の今後について	今後は順次建築工事を進め、令和 5 年度末の完成を目指す。引き続き、事業の着実な推進を行っていく。

②. いわき都心型住宅整備事業（真砂不動産株式会社）

事業実施期間	平成 30 年度～【未】
事業概要	商業や福利機能を複合した住宅を整備し、都市機能の充実を図り、子育てしやすく、かつ高齢者にやさしいまちづくりの推進や中心市街地への定住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし。
事業目標値・最新値及び進捗状況	実施主体の財政状況により、事業着手には至っていない。 現在、着手に向け、具体的な施設整備の内容等を検討している。 また、住宅を整備することにより、居住人口 228 人の増加を見込んでおり、事業完了により目標達成が見込まれる。 目標値：228 人の増加 令和 3 年度実績値：0 人
事業の今後について	今後も、引き続き事業の着手に向け、具体的な施設整備の内容を検討することとしている。

●目標達成の見通し及び今後の対策

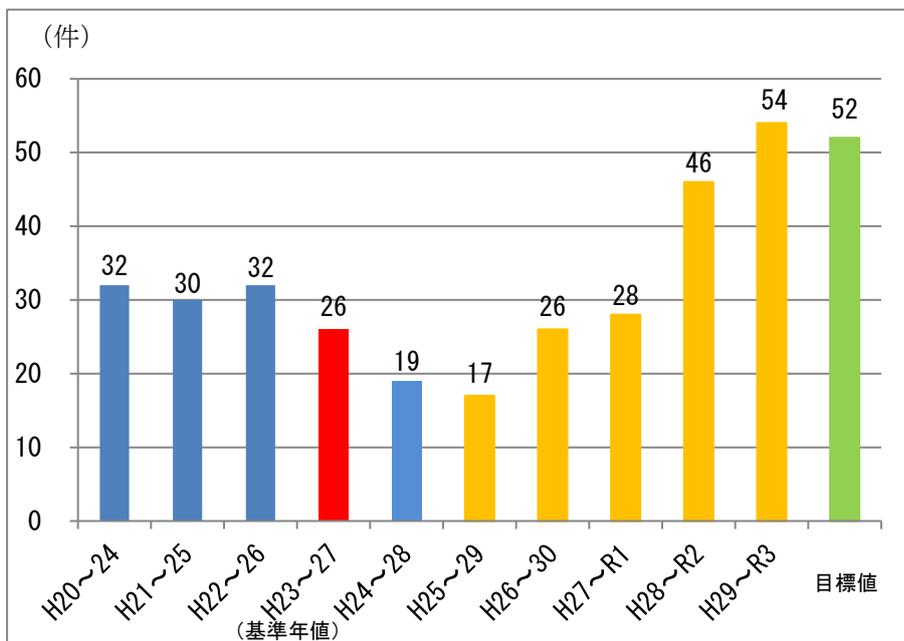
主要事業である「いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業」の完了によって、364 人の人口増加を見込んでいたが、進捗の遅れにより、この事業による計画期間内の人口増加は困難となった。

そうした中、令和 4 年度より、「“フラシティいわきへ” まちなか定住促進事業」や「リビング・シフト推進事業」、「U I J ターン支援事業」等を新たに計画に追加し、これらによっても市外か

ら中心市街地内への居住を促進していくことで、目標達成は可能であると見込んでいる。
 今後も引き続き、目標達成に向け、官民一体となって取り組んでいく。

(2) 「中心市街地内の新規出店数」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 64～P. 66 参照

●調査結果と分析



年	(単位) 件
H23 ~27	26 (基準年値)
H24 ~28	19
H25 ~29	17
H26 ~30	26
H27 ~R1	28
H28 ~R2	46
H29 ~R3	54
H29 ~R3	52 (目標値)

※調査方法： いわき商工会議所に聞き取り調査及び現地調査

※調査月： 令和4年3月

※調査主体： いわき商工会議所、いわき市

※調査対象： 中心市街地の新規出店数

〈分析内容〉

新規出店数については、順調に増加しており、目標を達成することができた。

これまでに実施した「まちなかを活用した起業家支援事業」などによりまちに賑わいが創出された効果が表れていることや、新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策として、空き店舗等を利用して新規に出店する事業所に対して市が補助金の交付を行ったことが増加の理由として挙げられる。

【参考】：中心市街地の新規出店者数

H29	H30	R1	R2	R3	過去5年間	
5件	12件	8件	19件	10件	合計	平均
					54件	10.8件

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 地域密着型商業施設整備事業（真砂不動産株式会社）

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	街区の再編等を行いながら、イトーヨーカドー平店をリニューアルするとともに、周辺地区の商業機能の強化を図り、まちなかに回遊性と賑わいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし。
事業目標値・最新値及び進捗状況	建物のリニューアルに向けて既存施設の解体が概ね完了したところである。また、道路付け替えのための都市計画変更の手続きも順調に進んでおり、今後は順次、道路の付け替え工事、新施設の建築工事に着手していく。 目標値：7 件の増加 令和 3 年度実績：0 件
事業の今後について	今後は順次、道路の付け替え工事、新施設の建築工事に着手していく。並行して、テナントリーシングを行い、令和 5 年度末の完成を目指す。

②. (再掲) いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業（いわき駅並木通り地区市街地再開発組合）

事業実施期間	平成 28 年度～令和 5 年度【実施中】
事業概要	いわき駅西側区域において、まちなか居住のための住宅の供給とともに都市機能を充実させ、歩いて暮らせるコンパクトシティの実現や、高齢者や障がい者にもやさしいまちの実現を図り、中心市街地への定住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省） （平成 29 年度～令和 4 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	権利変換計画の内容がまとまり、福島県へ認可申請を経て令和 3 年 6 月 25 日に権利変換計画認可を取得した。 これを受け、地区内の既存建物の解体撤去を完了させ、施設建築物の工事に着手したところである。 今後は順次建築工事を進め、令和 5 年度末の完成を目指す。 目標値：10 件の増加 令和 3 年度実績：0 件
事業の今後について	今後は順次建築工事を進め、令和 5 年度末の完成を目指す。引き続き、事業の着実な推進を行うこととしている。

③. (再掲) いわき都心型住宅整備事業（真砂不動産株式会社）

事業実施期間	平成 30 年度～【未】
事業概要	商業や福利機能を複合した住宅を整備し、都市機能の充実を図り、子育てしやすく、かつ高齢者にやさしいまちづくりの推進や中心市街地への定住を促進する。

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし。
事業目標値・最新値及び進捗状況	実施主体の財政状況により、事業着手には至っていない。 現在、着手に向け、具体的な施設整備の内容等を検討している。 また、商業施設を整備することにより、3件の新規出店を見込んでおり、事業完了により目標達成が見込まれる。 目標値：3件の増加 令和3年度実績値：0件
事業の今後について	今後も、引き続き事業の着手に向け、具体的な施設整備の内容を検討することとしている。

④. まちなかを活用した起業家支援事業（特定非営利活動法人 TATAKIAGEJapan）

事業実施期間	平成29年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の遊休不動産を活用し、起業家育成の環境を整備することにより、持続的な雇用機会の創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし。
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和2年度に引き続き、飲食店や小売業者が公園などの公共空間を活用し、キッチンカーで出店をする「Park+（パークプラス）」事業を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対しても、持続的な雇用機会の創出につながっている。 今後も事業を継続し、持続的な雇用機会の創出を図ることで、新規出店の増加が見込まれる。 目標値：2件の増加 令和3年度実績：0件
事業の今後について	引き続き、事業の着実な推進を行うこととしている。

⑤. リノベーションまちづくり関連事業

城下町景観づくり事業（たいらまちづくり株式会社）

事業実施期間	平成29年度～【実施中】
事業概要	歴史景観に配慮した案内看板や地図等の設置や、蔵等の古い建物をリノベーションし、新たな企業やテナントの誘致により、歴史を活用した魅力あるまちなみの形成と回遊性の向上、賑わいの創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし。
事業目標値・最新値及び進捗状況	磐城平城本丸跡地の公園整備工事のため、磐城平城本丸跡地への立ち入りが禁止されていたが、たいらまちづくり株式会社のHP等で磐城平城や安藤信正公について発信するなど、中心市街地の歴史に愛着を持ってもらえるような事業を実施した。 目標値：（関連事業全体で）5件の増加

	令和3年度実績値：0件
事業の今後について	今後は、磐城平城本丸跡地の整備完了後の活用についても検討していく。引き続き、歴史を活用した魅力あるまちなみの形成と回遊性の向上、賑わいの創出を図ることとする。

リノベーションまちづくり支援事業（いわき市）

事業実施期間	平成29年度～【実施中】
事業概要	広く市民等に「リノベーションまちづくり」を知る機会を提供することで、地元商業者や創業予定者がリノベーションする事業を学び、空き店舗等を活用したまちづくりに参加するきっかけを作り、事業化へつなげていくことによって、民間による活発な事業活動の推進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし。
事業目標値・最新値及び進捗状況	キッチンカーを活用した飲食・小売業者の出店支援事業「Park+（パークプラス）」事業を支援し、集客の仕組みをつくることにより公園に新たな付加価値を創出する、エリアイノベーションを促した。 今後も民間が主体的にまちづくりを行う機運の醸成を図ることにより、新規出店（5件）の増加が見込まれる。 目標値：（関連事業全体で）5件の増加 令和3年度実績値：0件
事業の今後について	引き続き、民間事業者に対する普及啓発活動を行うとともに、官民連携でエリアイノベーションを含む、リノベーションまちづくりの推進を図ることとしている。

⑥. 新規創業に向けた起業家支援事業

まちづくり基金の活用事業（mizDesigns 株式会社、いわき信用組合）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	クラウドファンディングの仕組みを活用した創業者への資金サポートを実施することにより、新規の事業活動を育成し、経済活性化を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし。
事業目標値・最新値及び進捗状況	クラウドファンディングサービスを提供し、新規創業やイベント企画、社会貢献活動の支援をしている。 今後も引き続き、創業者への資金サポートを実施することにより、新規創業を促進していく。 目標値：（関連事業全体で）5件の増加 令和3年度実績値：0件
事業の今後について	引き続き、新規創業に向けた起業家支援事業を継続して行う。

いわき市商工業活性化事業（いわき市）

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	技術の開発、活路開拓等のための調査、研究及び計画策定やイベント、イメージアップ事業に対する支援を実施することにより、民間による活発な事業活動の促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （平成 30 年度～令和 4 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地の活性化に資する民間事業の事業費の一部を補助し、民間事業の促進を行った。 今後も引き続き支援を行うこととしている。 目標値：（関連事業全体で）5 件の増加 令和 3 年度実績値：0 件
事業の今後について	引き続き、新規創業に向けた起業家支援事業を継続して行う。

市創業者支援融資制度事業（いわき市）

事業実施期間	平成 15 年度～【実施中】
事業概要	創業者に対して事業に必要な資金を有利な条件で融資することで、新たな事業の芽を育み、民間による活発な事業活動の促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし。
事業目標値・最新値及び進捗状況	創業者に対し、事業に必要な資金の一部を融資する「市創業者支援融資制度」に係る貸付原資の一部を取扱金融機関に預託するとともに、「市創業者支援融資制度」を利用した際の信用保証料を納付した創業者等に対し、当該保証料分の補助金を交付した。 今後も引き続き支援を行うこととしている。 目標値：（関連事業全体で）5 件の増加 令和 3 年度実績値：0 件
事業の今後について	引き続き、新規創業に向けた起業家支援事業を継続して行う。

創業者支援事業（いわき市）

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	創業を志す方に対し、いわき産業創造館創業者支援室を核として、創業者のビジネスを軌道に乗せるための総合的な支援を行うことで、新たな事業の芽を育み、民間による活発な事業活動の促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし。
事業目標値・最新値	創業を志す方や創業まもない方に対し、相談窓口の設置やセミナー

値及び進捗状況	<p>一の実施、インキュベートルームの提供、インキュベーターマネージャーによる指導・助言を行うなど、創業者のビジネスを軌道に乗せるための総合的な支援を行った。</p> <p>今後も引き続き支援を行うこととしている。</p> <p>目標値：(関連事業全体で) 5件の増加</p> <p>令和3年度実績値：0件</p>
事業の今後について	引き続き、新規創業に向けた起業家支援事業を継続して行う。

販路開拓・経営革新支援事業（いわき市）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	市内企業の販路開拓支援に向け、(公社)いわき産学官ネットワーク協会が実施するアドバイザー派遣や展示会出展補助、交流事業などの取組を支援することで、連携した取り組みを推進し、民間による活発な事業活動の促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし。
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>市内企業の販路開拓支援に向けた支援を行った。</p> <p>今後も引き続き支援を行うこととしている。</p> <p>目標値：(関連事業全体で) 5件の増加</p> <p>令和3年度実績値：0件</p>
事業の今後について	引き続き、新規創業に向けた起業家支援事業を継続して行う。

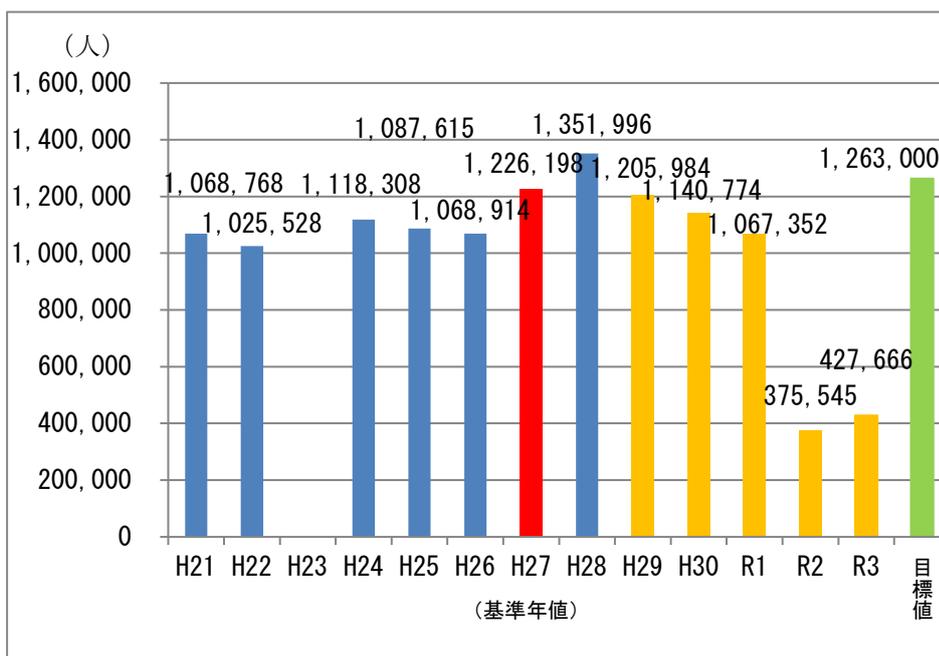
●目標達成の見通し及び今後の対策

新規出店数については、順調に増加しており、目標を達成することができた。

今後においても、令和4年度より新規に追加した「店舗等新規出店支援事業」や、中活計画策定当初には予定されていなかった JR 東日本によるいわき駅南口でのホテル及び商業施設の開発事業（令和4年度内に開業予定）によって新規出店数のさらなる増加が見込まれる。さらに、既存事業の「市創業者支援融資制度事業」などの創業者支援を受ける事業者に対し、「店舗等新規出店支援事業」の周知を図ることで、既存事業と新規事業の相乗効果を発揮し、新規出店数の増加を加速させていく。

(3) 「主要歴史・文化施設の入込客数」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 67～P. 71 参照

●調査結果と分析



年	(単位) 人
H27	1,226,198 (基準年値)
H28	1,351,996
H29	1,205,984
H30	1,140,774
R1	1,067,352
R2	375,545
R3	427,666
R4	1,263,000 (目標値)

※調査方法： 歴史・文化施設に聞き取り調査

※調査月： 令和4年3月

※調査主体： いわき市

※調査対象： 中心市街地の主要歴史・文化施設の入込客数

〈分析内容〉

令和3年度の入込客数は、427,666人であり、基準値・目標値を大きく下回っている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、対象となる施設が休館となったことや施設の収容客数に制限が設けられたこと、また、予定していた各種事業やイベントが中止や縮小となったことなどが原因であると考えられる。

しかしながら、ワクチンの普及等により、社会活動や経済活動が新型コロナウイルス感染拡大前の状態に戻りつつあることから、令和4年度には、入込客数も回復すると想定している。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. いわき芸術文化交流館アリオス自主企画事業 (いわき芸術文化交流館アリオス)

事業実施期間	平成28年度～令和4年度【実施中】
事業概要	クラシックコンサート・演劇等の鑑賞系事業や、アリオスに足を運ぶことのできない人たちのために生の演奏を届けるアウトリーチ活動、舞台芸術による人材育成・交流事業を実施することにより、賑わいの創出と文化芸術の発展を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等活性化事業) (文部科学省) (平成29年度) 文化芸術振興費補助金による助成金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) (文部科学省) (平成30年度～令和4年度)

事業目標値・最新値及び進捗状況	令和3年度のアリオスの来館者数は、287,686人であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたイベントや事業が中止や縮小となったことが要因となり、目標値を大きく下回った。 目標値：858,845人 令和3年度実績値：287,686人
事業の今後について	社会活動や経済活動が新型コロナウイルス感染拡大以前の状態に戻りつつある中で、感染対策をしながら、今後も引き続き、事業を着実に推進していく。

②. 磐城平城本丸跡地関連事業

都市公園整備事業（いわき市）

事業実施期間	平成29年度～【実施中】
事業概要	JRいわき駅北側の磐城平城本丸跡地を本市の歴史と文化を感じることができる公園として整備するとともに、地区内の既存公園・緑地について、安全で快適な歩行空間機能やまちなかにおける交流拠点機能を有する公園として再整備し、人・まち・文化がつながる平まちなかの創出を公園緑地の側面からの支援を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市公園・緑地等事業）（国土交通省） （平成29年度～令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	新川東緑地、大工町公園の再整備については令和3年度末に完了した。（仮称）磐城平城・城跡公園については、再整備を行っていたところ、埋蔵文化財が発掘されたことから、令和3年度は公園整備工事と並行して、埋蔵文化財の調査を行った。 目標値：25,980人 令和3年度実績値：0人
事業の今後について	令和4年度も引き続き、埋蔵文化財の調査を行うとともに、本格的に公園整備工事を実施していく。

磐城平城本丸跡地に関する活用事業（たいらまちづくり株式会社）

事業実施期間	平成29年度～【実施中】
事業概要	城下町であった認識を広め、磐城平城本丸跡地を活用することでまちづくりを促進し、人口の交流拡大を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし。
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和3年度の磐城平城本丸跡地の来場者数は、0人であった。これは、磐城平城本丸跡地を公園として整備するため、磐城平城本丸跡地への立ち入りが禁止されていたためである。整備工事の完了によって、入込客数の25,980人の増加を見込む。 目標値：25,980人 令和3年度実績値：0人
事業の今後について	公園整備工事のため、立ち入りはできないが、HP等で磐城平城

いて	や安藤信正公について発信することで、中心市街地の歴史に愛着を持ってもらえるよう、事業を推進していく。また、磐城平城本丸跡地の整備完了後の活用についても検討していく。
③. いわきの歴史・文化・伝統を生かした人材育成事業（いわき市、いわき地域学會）	
事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	いわきの歴史・文化・伝統等の承継のため、歴史冊子の作成や地域学を開講することにより、市民の誇りを醸成するとともに、市民や来街者に個性あるまちの魅力を提供し、人口の交流拡大を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし。
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 3 年度の生涯学習プラザ及び文化センターの利用者数は、102,533 人であった。 令和 3 年度は、いわき市についての歴史冊子を作成し、市内の小中学生に配布をすることで、市民にいわき市の魅力を発信した。 目標値：304,263 人 令和 3 年度実績値：102,533 人
事業の今後について	社会活動や経済活動が新型コロナウイルス感染拡大以前の状態に戻りつつある中で、感染対策をしながら、今後も引き続き、事業を着実に推進していく。
④. いわき市立美術館と連携した文化芸術普及促進事業 いわき市立美術館教育普及事業（いわき市）	
事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	市立美術館において、多様な芸術表現等を体験できる、ワークショップ、講演会、美術講座等の開催や、市立美術館と連携した美術・アート作品等の展示を行うことにより、まちなかの賑わいの創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし。
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 3 年度の美術館の来館者数は、37,447 人であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業が中止や縮小されたことが要因となった。 目標値：101,537 人 令和 3 年度実績値：37,447 人
事業の今後について	社会活動や経済活動が新型コロナウイルス感染拡大以前の状態に戻りつつある中で、感染対策をしながら、今後も引き続き、事業を着実に推進していく。
文化芸術の発展事業（特定非営利法人 Wunder ground、有限会社アイシステム）	
事業実施期間	平成 27 年度～【未】
事業概要	まちなかの空き地・空き店舗を活用し、アーティストレジデンス

	の整備や、美術・アート作品の展示を行うことで、商店街と連携した民間の文化芸術の拠点を構築し、賑わいの創出と文化芸術の発展を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （平成 29 年度～令和 3 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業主体の財政状況により、事業着手には至っていない。 今後、関係機関と協議し実施に向けた事業体制の構築を行うこととしている。 目標値：700 人の増加 令和 3 年度実績値：0 人
事業の今後について	事業開始に向けて、関係機関と協議し実施する予定である。

●目標達成の見通し及び今後の対策

新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業やイベントが中止や縮小となるなど、令和 3 年度も新型コロナウイルス感染拡大前と比較して入込客数が少ない状況が続いている。

しかしながら、ワクチンの普及等により、社会活動や経済活動が新型コロナウイルス感染拡大前の状態に戻りつつあり、令和 4 年度には新型コロナウイルス感染拡大前の状況にまで回復することを想定している。そのため、令和 4 年度には目標達成が可能だと見込んでいる。さらに、令和 4 年度より、中心市街地を回遊するグリーンスローモビリティの運行を開始する予定であり、中心市街地内の商業施設や文化施設間など、まちなかの回遊性を向上させることで、これによっても入込客数の増加を図っていく。

そして、今後も引き続き、いわき芸術文化交流館アリオス自主企画事業やいわき市立美術館教育普及事業などの既存事業を着実に推進していくことで目標達成を目指していく。